

## 策定の経緯と背景

大分市消防団の新入団員は、消防団員研修において、経験豊富な消防団員から資機材の取扱いや規律訓練、消防団員としての心構えなどの指導を受けます。その後、新入団員は水防訓練や夏季訓練、操法大会など全体の行事参加に合わせて能力を磨くほか、分団や部ごとに吸放水などの訓練を行うとともに、大分県消防学校で実施されている教育訓練を受講する機会があります。

しかしながら、多くの消防団員は被雇用者であり、消防団活動に時間を割きにくいという現状を考慮し、師団や方面隊といった大集団ではなく、空いた時間を利用して少人数で実践的な訓練や研修を行える効率的な仕組みを作る必要があります。そこで、大分市消防団では令和2年度に大分市消防団訓練育成あり方検討会を開催し、結果を報告書として取りまとめ大分市消防局長あてに消防団員用マニュアルの作成を依頼した次第です。今後、このガイドラインを訓練や研修の参考にするとともに、消防団員の育成や地域防災の強化の一助になれば幸いです。

## ガイドラインの使い方

このガイドラインは、新たに大分市消防団員となった日から手に取り、段階的にスモールステップを踏みながら学べるものとなっています。また、訓練指導員は、このガイドラインを参考に、自分のスキルと組み合わせながら訓練指導を行ってください。

ガイドラインを参考に訓練指導を行っていくなかで、消防局と合同で訓練する際も、このガイドラインをもとに訓練の指導依頼をすることで、消防団と消防局が、共通認識を持ちながら効率的に訓練を行えるものとなっています。

訓練を行う前は、体調確認を行い、しっかりとした準備運動を済ませ、事故防止に十分注意して安全に配慮した無理のない訓練を行ってください。

